



# 石東中だより

平成25年4月19日  
発行者：練馬区立石神井東中学校  
校長 堀井安伸

## 平成25年度 学校経営計画

### 1 教育目標

人権尊重の精神を踏まえ、自ら学び、自ら考え、正しく判断できる心身ともに健康で人間性や社会性が豊かな生徒の育成を目指し、次の目標を設定する。

◎思いやりの心を持てる人 ◎自ら学び、考え行動できる人 ◎心も体もたくましい人

### 2 学校経営のビジョン(中期経営目標)3年目

<昨年との変更部分は下線部>

めざす生徒像	①思いやりの心を持てる人 ②自ら学び、考え行動できる人 ③心も体もたくましい人
めざす学校像	①人権教育を推進し、自他を尊重する心を育む学校 ②生活指導を充実させ、基本的な生活習慣の定着を目指す学校 ③小中一貫教育を基に授業を工夫し、学力の定着を目指す学校 ④特別活動を充実させ、感動と体験による人間力の向上を目指す学校 ⑤総合的な学習の時間を充実させ、言葉と表現を大切にする学校
めざす教師像	①使命感と学校経営への参画意識を持ちサービスの厳正に務める教師 ②公平性、正当性、誠実性を重んじ、生徒、保護者から信頼される教師 ③危機管理意識が高く、専門性を磨き豊かな人間性を身につけようとする教師

### 3 本年度の経営方針

これまでの教育理念を継承しつつも、第一に、実践においては人権教育先進校に学びつつ人権尊重の精神の育成を図る。第二に、小中一貫教育の研究を推進し、様々な課題に対する解決策を発見し改善策に繋げていく。そして、上記に示すような具体的な「目指す学校像」を定め、その一つ一つにおいて特色ある教育活動を行い、生徒の全人的な発達を図る。また、地域の中にある学校として、地域住民や学校評議員・PTA等保護者の教育力を活かし、生徒を安心して通わせることのできる地域から信頼される学校づくりを進める。

#### <伝統の継承と確実な実践>

そこで、本年度の経営方針を次のようにする。

これを受けて、下記のとおり、全ての教育活動を推進しつつ、本年度の重点目標、達成基準、具体的な方策をもち教育活動を確実に展開していくものとする。

### 4 本年度の重点目標(短期経営目標)

#### ①人権教育を推進し、自他を尊重する心の育成

本年度の成果目標	検証方法
自他の生命を尊重し正義を愛する心の育成	事後および年度末のアンケートと感想文

<目標実現に向けた取り組み>

項目	達成基準	具体的な方策
いのちを大切にす る心の育成	・いのちの大切さについての理 解度を100%にする。 ・いじめ被害「0」を目指す	・「いのちの授業」を全校生徒対象に年1回 以上実施し感想文を書かせる ・いじめ防止にかかわる具体的な実践を行 い、早期発見、厳しく対応する
規範意識の醸成	・道徳の授業の充実度を80% 以上にす ・交流活動・職場体験等の充実 度80%以上にす	・年間計画の完全実施と校内研修を行い、 公開を年2回実施する ・小中一貫教育の交流活動、2年での職場 体験を実施する
教養ある生徒の育 成	・全生徒が年間5冊以上の読書 を達成させる ・プレゼンテーション、コミュニケーション能力 の向上度を80%にする	・毎朝の石東タイムの実施と図書室の充実 と毎月の啓発活動を実施する ・総合的な学習の時間において年1回以上 の発表の機会を作る

#### ②生活指導を充実させ、基本的な生活習慣の確立と授業改善による学力の定着

本年度の成果目標	検証方法
学力、生活における基礎・基本の定着	中間および年度末のアンケートと学力調査

<目標実現に向けた取り組み>

項目	達成基準	具体的な方策
生活習慣の定着と 社会性の修得	・「あいいうえお」の実践の達成感 を80%以上にす	・生活指導部、生徒会の取り組みを中心に 全校体制で啓発を強化する

	・「早寝早起き朝ご飯」の定着度を70%以上にする	・毎回の保護者会、学校だより、朝礼講話、生徒会活動等で啓発する
授業改善	・小中一貫教育の研究授業を通して教員の授業力を高める ・生徒評価をもとにした授業改善プランを作成し実践する	・小中合同校内研修会、又は自己申告の授業観察等で各自のテーマを決め実践する ・7月に生徒による授業評価を行い、9月に授業改善プランを完成する
家庭学習の定着	・家庭学習の定着度を90%以上にする ・学習に対する主体性の向上度を60%以上にする	・補充教室に外部人材を活用し、基本的な学習習慣の定着を支援する ・学力向上支援講師、学校生活支援員による個に応じた指導を充実させる

### ③感動と体験による人間力の育成

本年度の成果目標	検証方法
達成感、自己肯定感を育み人間力の育成	事後および年度末のアンケートと感想文

<目標実現に向けた取り組み>

項目	達成基準	具体的な方策
特別活動等の充実	・運動会、合唱コン等の充実度、及び感動度を100%にする ・部活動の充実度を80%以上にする	・各行事の計画、立案において内容の精選と工夫を図り各学年の指導を充実させる ・全部活動の活躍を最大に賞賛するとともに広報を確実に行う
主体性・人間関係力の育成	・生徒会、各種委員会の充実度を80%以上にする ・人間関係充実度80%以上にする	・自主的な運営力を育成する指導法を工夫し、実践する ・SST、QU、表現活動の授業実践
健康に対する意識の向上	・自身の健康への関心度を90%以上にする ・食育への関心度を80%以上にする	・毎月、保健だよりを発行し、学活等でそれを活用した指導を実施する ・給食を通して食について意義や内容の啓発活動を工夫し実施する

## 5 評価方法

評価項目	時期	評価者	評価方法
教育活動全般	11月 1月 12月	評議員、保護者 生徒 教職員	学校評価アンケート 生徒向け学校評価アンケート（授業含む） 年度末自己評価
授業改善	7月	生徒	各教科授業アンケート
各種行事	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等
各体験学習等	事後	生徒、保護者	事後アンケート、感想文等

※生徒・保護者の学校評価は年度末に学校だより、ホームページ等で公開する

## 6 特色ある活動の実践

- |                   |                                      |
|-------------------|--------------------------------------|
| ①小中一貫教育研究の推進      | ⑦ミニ講演会、親子地域清掃、餅つき大会、職場体験、ボランティア体験の実施 |
| ②「あいうえお」の学校づくり    | ⑧「部活動を支える会」の活性化                      |
| ③「フラワーロード」の管理・維持  | ⑨石東中ならではの学校行事の創造                     |
| ④全教科全生徒による授業評価の実施 | ⑩プレゼンテーション、コミュニケーション能力等の言語表現能力の育成    |
| ⑤石東タイムによる朝読書活動    |                                      |
| ⑥道徳授業地区公開講座を年2回実施 |                                      |

※学校スローガン「心をひとつに」

※部活動スローガン「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」

## 7 本年度の学校経営の基本指針

- ①教職員間の和を大切に「心をひとつに」の精神を継承する。（生徒の模範となる）
- ②教員自らが人権尊重の精神を学び、生徒の模範となる。（人権感覚の研鑽）
- ③互いの意見を尊重する。（公正公平な精神で議論する）
- ④組織的な対応のために、「報告、連絡、相談」を徹底する。（どんなに忙しくても）
- ⑤職務に対して「やり甲斐」「生き甲斐」をもてる職場にする。（後ろ向きな発言は禁物）
- ⑥自身の担当職務の責任は必ず果たす。（プロフェッショナルの集団）
- ⑦危機管理意識を高め、必要に応じて改善する意欲を忘れない。（改善策に耳を傾ける）
- ⑧どんなに裏切られても生徒への深い愛情を忘れない。（それが我々の本職）
- ⑨保護者への対応は、保護者の立場を十分理解し、最適な改善策を見いだそうという姿勢で丁寧に行う。（自分が保護者だったらどう思うかをいつも意識する）
- ⑩服務事故に対して安易な考えを絶対にしない。（自らの存在の重さを感じる）
- ⑪教員自从来校者に対して先にあいさつをする。（「あいうえお」の率先垂範）